

交野みらい学園

第2号

小中一貫教育だより



交野みらい学園の「めざす子ども像」

- 豊かな人権感覚を持ち、自他共に大切にする子 交野市立第一中学校 校長 小嶺 彰博
- 自ら学び、よく考え、粘り強く実行する子 交野市立交野小学校 校長 高岸 育
- 活力を持ち、たくましい心や身体をもった子 交野市立長宝寺小学校 校長 徳長 裕

令和4年4月に交野小学校と長宝寺小学校が統合され、交野みらい小学校が誕生します。学校では統合に向けて、さまざまなとりくみをしています。

統合後を見据えて、交野小学校と長宝寺小学校の4年生が6月に、3年生が7月に交流しました。当初は、交野小学校の児童が長宝寺小学校に行き、そこで交流する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoomを使って交流しました。

4年生は、長宝寺小学校の児童が交野小学校の児童に長宝寺小学校の学校施設を紹介してくれました。また、それぞれの学校で流行っていることや統合への期待と不安を交流しました。3年生は、お互いの学校の先生や児童を紹介し合いました。どちらの学年も統合後のことを考えた内容で、お互いを知るよい機会になりました。今後も交流の機会をつくる予定です。



令和3年度交野みらい学園学校評議員会

7月14日(水)に交野みらい学園学校評議員会を開催しました。第一中学校、交野小学校、長宝寺小学校のそれぞれの学校の様子を評議員さんにお伝えし、意見交流しました。

小学校の統合に係る通学路の話やコロナ禍での中学校での部活動等について等が話題に上がりました。通学路については、さまざまな方面からお声をいただいております、参考にさせていただきます。

今後もいただいたご意見を学校経営に反映させられるよう努めてまいります。



開校に向けた進捗状況

開校準備委員会では、現在、交野みらい学園の校章の選定を終え、校歌を地域の専門家に依頼しているところです。通学安全部会では、通学路について検討を重ねてきたものを集約し、通学安全部会としての通学路案をいただきました。現在、それを各地区にお示ししています。今後、学校と協議のうえ本決定していきます。10月初旬ごろには決定した通学路をお示しする予定です。地域協働部会では、地域の方が学校でどんなことをしていただけるかの話し合いをしています。併せて通学路の見守りについても話し合ってもらっています。

学校では、制服や制帽について検討しています。中学校を中心に制服を、小学校を中心に制帽をどのようなものにしていくか話し合っています。デザイン、機能性、価格等を考慮して考えているところです。



コミュニティ・スクールについて学びました

8月5日(木)に「交野市教育フォーラム」が開催されました。京都光華女子大学の西孝一郎先生に、コミュニティ・スクールについてご講演いただきました。

コミュニティ・スクールとは、これまで以上に「地域とともにある学校」をつくるために、学校運営協議会を設置した学校のことです。学校運営協議会は、保護者・地域住民・教職員・学識経験者等がメンバーとなり、学校運営方針を承認し、学校運営への参画や支援・協力を行っていく役割があります。実際に導入している学校では、地域の方に子どもたちの学習支援や学校の環境整備、登下校の安全管理、地域行事の企画・運営等をしていただいているようです。

では、なぜこのような制度を導入するのでしょうか。西先生は、「これからの時代を生きる子どもたちのために、地域・保護者・学校という社会総がかりで子どもたちを育む体制を構築するため」とおっしゃっていました。要するに、すべて子どもたちのためだということです。コミュニティ・スクールがうまく機能している学校は、子どもたちが学校好きになり、いずれ大人になった時にボランティアとして学校に帰ってくるそうです。交野みらい学園で実践している「地域いのち科」の目標「友だちとともに、地域に守られ、地域とともに成長し、将来は地域に貢献する交野みらいっ子の育成」と重なるところが大きいです。

交野みらい学園では、令和4年度にコミュニティ・スクールとしてスタートするための委員会を組織し、準備を進めています。

(仮称) 交野みらい学園に関するQ&Aが掲載されたホームページへのQRコードです。→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→

